

<別記>

※1 滞在型観光地域づくり

広域エリア単位で、以下の条件が実現された状態

- ・観光客のニーズ(見る、遊ぶ、食べる、買う、泊まる、移動するなど)に合わせたサービスが複数市町村にまたがる一定のエリア内で提供できている
- ・関係者(市町村、観光協会、宿泊施設、飲食店、体験プログラム事業者、土産物店、交通機関等)が連携して、エリア内での宿泊につながる事業者間連携や情報拡散・相互誘導、地元ならではの食や製品の提供等、観光客の地域での周遊箇所数が増加し、滞在時間が延長されることによる消費拡大に向けた仕組みを有している
- ・関係者が主体的に関わり、取組のPDCAを回す仕組みを有している
- ・訪日外国人観光客の受入も見据えた、地域での消費拡大に向けた対応(キャッシュレス決済、多言語対応等、快適に周遊できる受入態勢の整備)ができている

※2 広域観光組織

地域が主体的に全国からの誘客につながる観光地域づくりを推進するため、複数市町村で構成された観光地域として、広域観光振興計画を策定し、マーケティングやプロモーション、旅行商品の造成・販売、観光人材の育成等の機能を担う、広域での観光地域づくりの中心的役割を担う組織

<参考> 令和6年2月29日現在の広域観光組織

(一社)高知県東部観光協議会、(一社)物部川DMO協議会、(一社)土佐れいほく観光協議会、
(一社)仁淀ブルー観光協議会、(一社)奥四万十高知、(一社)幡多広域観光協議会

※3 広域観光組織が掲げる観光振興計画

<観光振興計画>

(一社)高知県東部観光協議会

「ひがしこうち」を訪れる観光客が自然・景色・食といった、ここにしかない価値に満足し、何回も訪れてもらえる魅力的な観光地域づくりを目指す

(一社)物部川DMO協議会

「親子一緒に、笑顔でまた来たくなるものべがわエリア」をエリアコンセプトとして、メインターゲットである家族連れに旅行やおでかけしやすいエリアとして認知されるよう施策を立案することで、観光施設の入込数を増やし、満足度の向上を図るとともに、観光消費額の増大を目指す

(一社)土佐れいほく観光協議会

嶺北地域4町村と観光関係団体とが連携しながら、地域の観光資源を活用した交流人口の拡大等を図るために、必要な取組を推進し、嶺北地域の域内消費を高めることを目指す

(一社)仁淀ブルー観光協議会

仁淀ブルーを起点とした自然・歴史・文化・産業・食・人といった、ここにしかない価値に訪れる観光客等が満足し、仁淀川流域に何回も訪れてもらえる魅力的かつ持続可能な観光地域づくりを目指す

(一社)奥四万十高知

山・川・海の恵まれた自然資源、ハイレベルな食資源、歴史及び文化資源をベースとして、品質向上とおもてなしのレベルアップを通じて、全国に通用する観光地域「奥四万十」の形成を目指す

(一社)幡多広域観光協議会

幡多地域が連携することで「①地域内の観光に関わる企業・団体だけでなく、様々な産業の企業・団体等や地域の住民が観光に関わる中で、観光を通じて収入を得る人が増える。観光消費額が増えることにより、経済的に活性化すること」「②幡多地域に訪れる人が増え、滞在時間が増えることにより、観光消費額が増える。それによって地域内の多くを占める中山間地域でも観光に関わり新たな生業が生まれ、人口増加や地域の活性化につながり、地域の人が元気になること」という2つのありたい姿を目指す

高知市

魅力的な観光地と食、そして人という高知ならではの観光資源と観光を取り巻くあらゆる要素との連携を図りながら、高知市の特性と強みを最大限に活かした観光力の高いまち高知市を目指す